

3 安全と安心のまち (1) 安全な暮らしを守る防 災・防犯体制		評価理由		平成19年に災害があったので、市民の意識が高くなった。20年度は若干下がったが、防災訓練の参加者は増加しており、市民意識は高いと判断したため。			
61		62		63		64	
災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合		防災訓練参加者数		消防団員の定員の充足率		がけ地近接等の危険住宅の戸数	
指標の推移による。 防災訓練参加者数に関連する。		指標の推移による。 自治会・町内会の防災訓練の回数を増やす必要がある。		指標の推移による。 入団しやすい環境づくりにもっと努力すべきである。 消防団についてのPRが不足している。		指標の推移による。 PRが必要である。	

3 安全と安心のまち (1) 安全な暮らしを守る防 災・防犯体制			
65		66	
能代警察署管内の交通事故死者数		能代警察署管内の犯罪件数	
指標の推移による。 ゼロを目標に運動すべきである。		指標の推移による。 全国・全県的な犯罪率を考慮した目標か検証する必要がある。	

3 安全と安心のまち (2) 機能的で利用しやすい 道路・交通ネットワー		評価理由		指標の評価に順調が多いため。			
67		68		69		70	
道路の整備延長（改良率）		道路の整備延長（舗装率）		除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会などで協力しあう体制が整っていると思う市民の割合		巡回バスの1便平均利用者数	
指標の推移による。		指標の推移による。 本来舗装すべき市道はほぼ完了している。		指標の推移による。 平成18年・19年の豪雪により20年の数値は上昇したが、その後、少雪傾向なので数値は下がったと思われる。		限られた条件の中では健闘している数値と考えられるため。 利用増のためには、利用者の意識の洗い出しが必要である。	

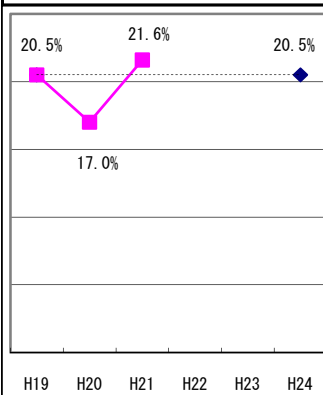
3 安全と安心のまち  
 (3) 効果的で調和のとれた  
 土地利用

(-\_-)  
 横ばい

(^-^)  
 順調 0  
 (-\_-)  
 横ばい 1  
 (>\_<)  
 不調 0

71 (-\_-) 横ばい

中心市街地活性化重点区域の  
 空き店舗率



3 安全と安心のまち  
 (4) 快適で暮らしやすい住  
 環境

(^-^)  
 順調

(^-^)  
 順調 3  
 (-\_-)  
 横ばい 1  
 (>\_<)  
 不調 0

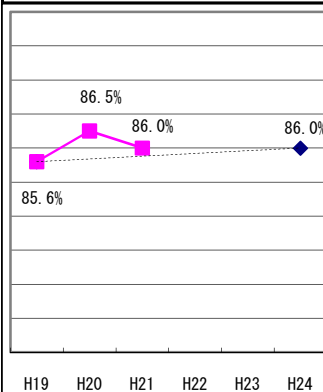
72 (^-^)  
 順調

73 (-\_-)  
 横ばい

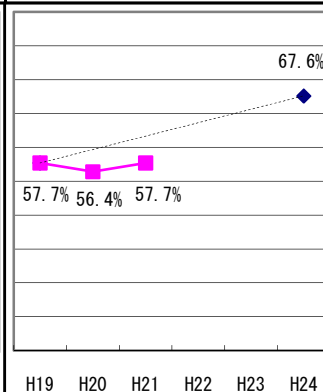
74 (^-^)  
 順調

75 (^-^)  
 順調

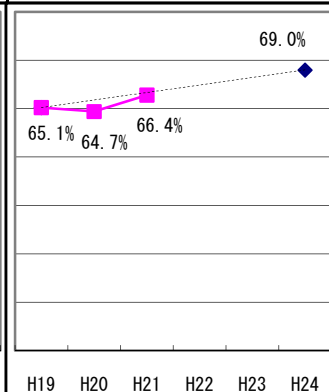
水道普及率



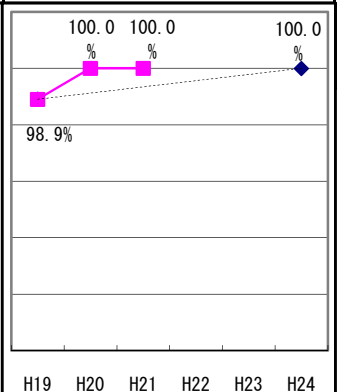
汚水処理人口普及率



飲用水の確保や生活排水の処理  
 など、衛生的な生活環境は  
 維持されていると思う市民の  
 割合



ブロードバンド世帯カバー率



3 安全と安心のまち  
 (5) 安心でき健康を保てる  
 医療体制

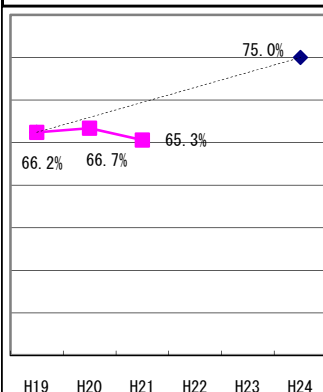
(-\_-)  
 横ばい

(^-^)  
 順調 0  
 (-\_-)  
 横ばい 2  
 (>\_<)  
 不調 0

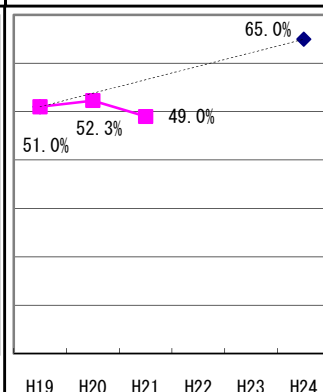
76 (-\_-)  
 横ばい

77 (-\_-)  
 横ばい

身近なかかりつけ医を持つて  
 いる市民の割合



身近なかかりつけ薬局を持つて  
 いる市民の割合



3 安全と安心のまち (3) 効果的で調和のとれた 土地利活用	評価理由	景気低迷の中では健闘しているため。 まちづくり合同会社の成果も、もう少し時間が必要である。		
71				
中心市街地活性化重点区域の 空き店舗率				
景気低迷の中では健闘して いるため。 まちづくり合同会社の成果 も、もう少し時間が必要である。				

3 安全と安心のまち (4) 快適で暮らしやすい住 環境	評価理由	将来的にはもう少し高い目標が理想と考えるが、現在の施設整備の進捗状況から、指標の推移で判断したため。		
72	73	74	75	
水道普及率	汚水処理人口普及率	飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合	ブロードバンド世帯カバー率	
指標の推移による。	指標の推移による。	類似都市と比較した場合、もう少し高い目標が理想と考えるが、水道・汚水処理普及率の現状を考慮して、指標の推移により判断したため。	指標の推移による。	

3 安全と安心のまち (5) 安心でき健康を保てる 医療体制	評価理由	すべての指標を横ばいと評価したため。		
76	77			
身近なかかりつけ医を持っている市民の割合	身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合			
指標の推移による。 かかりつけ医の定義が明確でない。 病診連携の確立が出来上がっていない。	指標の推移による。 かかりつけ薬局の定義が明確でない。 ドラッグストアなどをおかかりつけ薬局と誤解している可能性がある。			